

大田原信用金庫
2023年度上半期

ディスクロージャー

2023. 4. 1 ▶ 2023. 9. 30



お客さま一人ひとりに、いつも心のこもったサービスを。

地元の皆さまとともに



大田原信用金庫

ごあいさつ

皆さまにおかれましては、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また、平素より大田原信用金庫をお引き立ていただき誠にありがとうございます。

このたび、当金庫の経営状況などのご報告として、「2023年度上半期ディスクロージャー誌」を作成いたしましたので、ご高覧頂ければ幸いに存じます。

2023年度上半期につきましては、2021年4月からスタートした第6次中期経営計画「次代に向けての挑戦2024～地域密着型金融の深掘りと探索～」に基づき、地域密着型金融を役職員一同推し進めてまいりました。その結果、預貸金ともに伸長し、2023年9月の当期純利益は167百万円を計上することが出来ました。

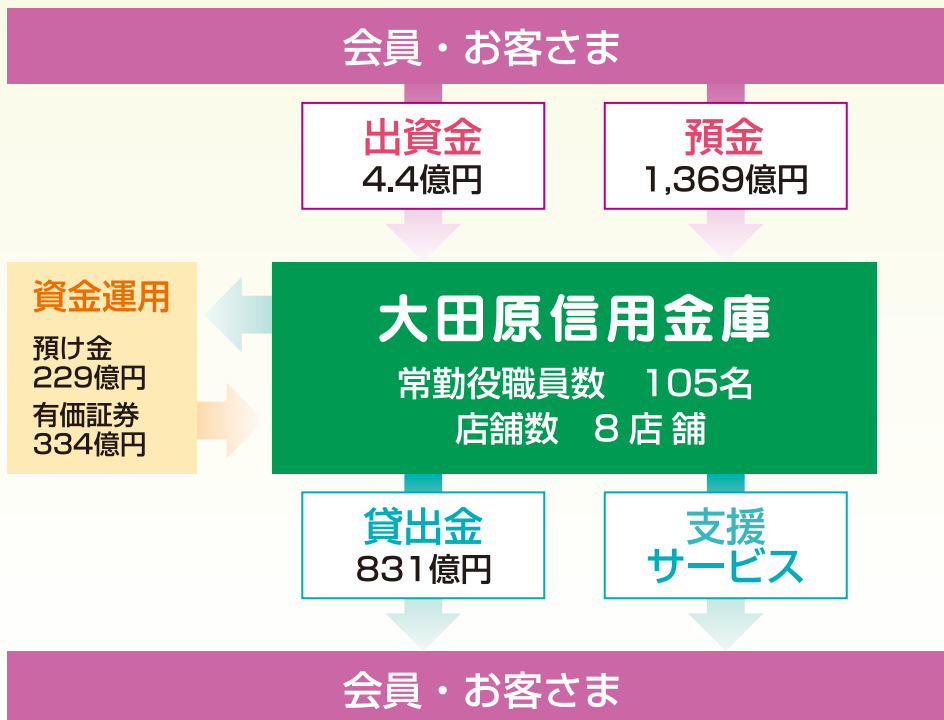
今後も地域に根差した金融機関として、地元の皆さまの様々なニーズに積極的に取り組んでまいりますので、引き続きのご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

2023年11月

理事長 駒場 善一

大田原信用金庫と地域社会

だいしんは 相互扶助型の金融機関	地域の資金を地域に還流	地域経済の 持続的発展に向けて
当金庫は栃木県北部地域を主な事業区域とし、会員（地域の中小企業や住民）がお互いに助け合い、ともに発展していくことを理念として運営されている相互扶助型の金融機関です。	地域のお客さまからお預かりした大切な資金（預金等）は、資金を必要とされる地域のお客さまに融資を行い、地域の事業の繁栄や豊かな暮らしのお手伝いをしています。	地域との強い絆やネットワークを形成し地域経済の持続的発展に努めています。また、金融仲介機能の提供にとどまらず地域社会の活性化に積極的に取り組んでいます。



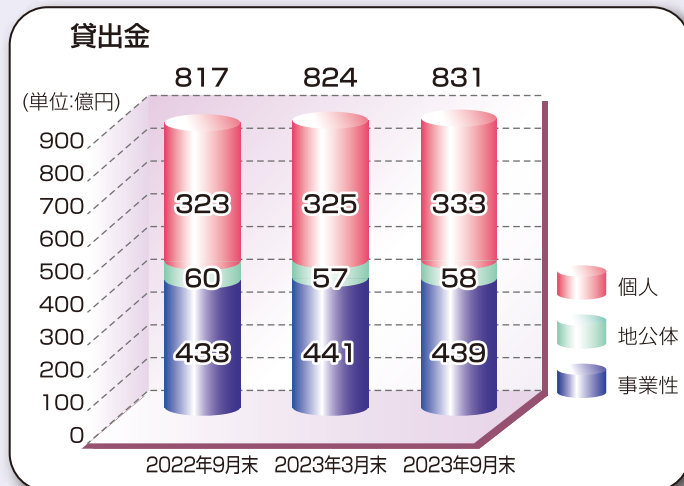
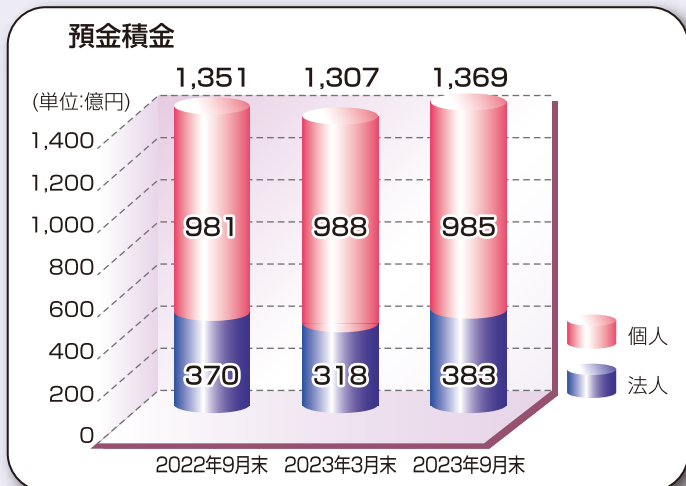
2023年度上半期の概況

大田原信用金庫の2023年度上半期（2023年4月1日～9月30日）における概況をお知らせいたします。

預金積金・貸出金の状況 — 預金積金 1,369 億円、貸出金 831 億円 —

預金積金残高は前期末比61億円増加の1,369億円、貸出金残高は前期末比6億円増加の831億円となりました。

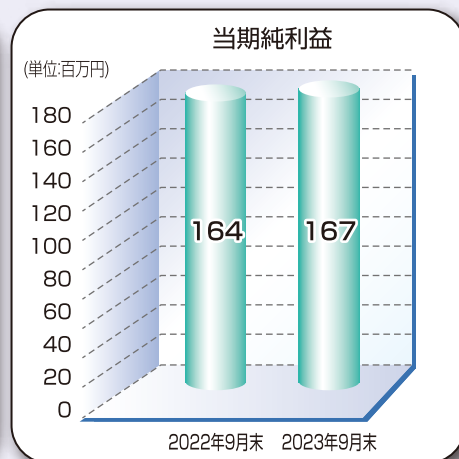
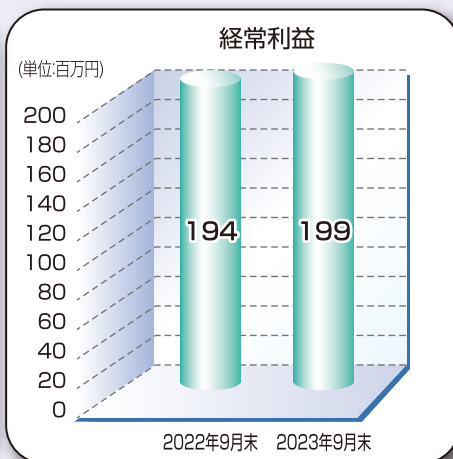
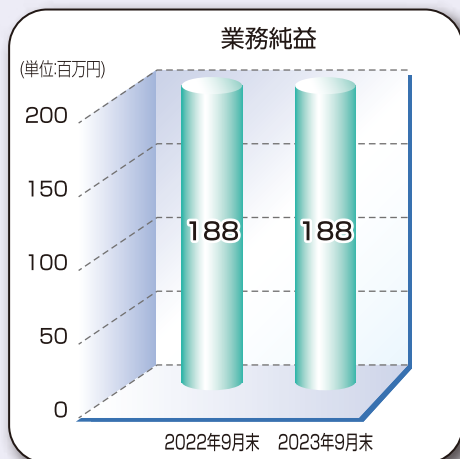
※記載の金額は単位未満を切り捨てて表示しております。



損益の状況 — 業務純益 188 百万円、当期純利益 167 百万円 —

当期純利益は前年同月比2百万円増加の167百万円となりました。

※記載の金額は単位未満を切り捨てて表示しております。



自己資本比率 — 国内基準を上回り健全性を維持 —

自己資本比率は13.30%となり、国内基準（4%）を大きく上回っています。

(単位:百万円)

	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末
自己資本の額 (イ)	6,628	6,654	6,831
コア資本に係る基礎項目の額	6,655	6,681	6,857
コア資本に係る調整項目の額	△ 27	△ 27	△ 26
リスク・アセット等の額の合計額 (ロ)	54,473	50,205	51,329
信用リスク・アセットの額の合計額	51,667	47,364	48,488
オペレーショナル・リスク相当額の合計額 ÷ 8%	2,806	2,841	2,841
自己資本比率 (イ/ロ)	12.16%	13.25%	13.30%

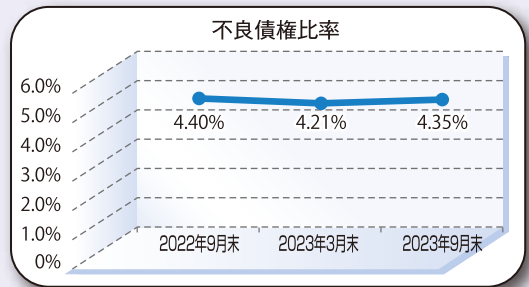
※記載の金額及び比率は原則として単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。

不良債権の状況

金融再生法開示債権

(単位:百万円)

区分	2022年9月末	2023年3月末	2023年9月末
金融再生法上の不良債権	3,605	3,484	3,627
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	355	290	367
危険債権	3,224	3,171	3,238
要管理債権	26	22	21
正常債権	78,272	79,194	79,727
合計	81,878	82,678	83,355
不良債権比率	4.40%	4.21%	4.35%



有価証券の状況

満期保有目的の債券

(単位:百万円)

	種類	2023年3月末			2023年9月末		
		貸借対照表計上額	時価	差額	貸借対照表計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	その他	500	507	7	300	305	5
時価が貸借対照表計上額を超えないもの	その他	3,700	3,320	△ 379	3,800	3,329	△ 470
合計		4,200	3,827	△ 372	4,100	3,634	△ 465

- (注) 1. 時価は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

その他有価証券

(単位:百万円)

	種類	2023年3月末			2023年9月末		
		貸借対照表計上額	取得原価	差額	貸借対照表計上額	取得原価	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	株式	466	329	137	679	463	215
	債券	5,129	5,091	38	3,672	3,653	19
	国債	100	99	0	100	99	0
	地方債	1,692	1,679	13	819	813	5
	社債	3,336	3,312	24	2,752	2,739	13
	その他	820	752	67	1,250	1,164	86
小計		6,416	6,173	243	5,601	5,280	321
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	株式	242	260	△ 18	57	69	△ 12
	債券	15,281	15,956	△ 674	18,089	19,216	△ 1,126
	国債	6,018	6,491	△ 472	5,705	6,492	△ 786
	地方債	1,377	1,408	△ 30	3,461	3,537	△ 76
	社債	7,885	8,056	△ 170	8,922	9,186	△ 264
	その他	6,254	7,038	△ 783	5,591	6,485	△ 894
小計		21,778	23,255	△ 1,476	23,738	25,771	△ 2,033
合計		28,195	29,428	△ 1,233	29,340	31,052	△ 1,712

- (注) 1. 貸借対照表計上額は、期末日における市場価格等に基づいております。
 2. 上記の「その他」は、外国証券及び投資信託等です。
 3. 市場価格のない株式等及び組合出資金は本表には含めておりません。

貸出金業種別内訳

(単位:百万円)

業種区分	2023年9月末			業種区分	2023年9月末		
	貸出先数	貸出金残高	構成比(%)		貸出先数	貸出金残高	構成比(%)
製造業	146	5,773	6.9	物品貸貸業	2	5	0.0
農業、林業	76	1,395	1.6	学術研究、専門・技術サービス業	29	648	0.7
漁業	1	0	0.0	宿泊業	16	459	0.5
鉱業、採石業、砂利採取業	2	61	0.0	飲食業	185	1,927	2.3
建設業	480	10,597	12.7	生活関連サービス業、娯楽業	71	1,490	1.7
電気・ガス・熱供給・水道業	13	413	0.4	教育、学習支援業	27	560	0.6
情報通信業	4	17	0.0	医療、福祉	56	2,668	3.2
運輸業、郵便業	49	1,236	1.4	その他のサービス	288	4,631	5.5
卸売業、小売業	305	6,957	8.3	地方公共団体	6	5,862	7.0
金融業、保険業	10	115	0.1	個人	4,740	33,365	40.0
不動産業	132	4,988	6.0	合計	6,638	83,171	100.0

(注) 業種別区分は日本標準産業分類の大分類に準じて記載しております。

※記載の金額及び比率は原則として単位未満を切り捨てて表示しておりますので、合計を表示している欄等との数値が一致しない場合があります。

◆ マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策の管理態勢について

近年のマネー・ローンダリング及びテロ資金供与（以下「マネー・ローンダリング等」という）の防止に向けた国際的な要請の高まりを受け、当金庫では、マネー・ローンダリング等の金融犯罪防止対策を重要な経営課題と位置づけ、「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策ポリシー」を定め、管理態勢の構築・強化に取り組んでいます。

具体的には、マネー・ローンダリング等の責任者を事務部担当理事、統括部署を事務部と定め、関係部署と連携のもと、当金庫が直面するリスクの特定・評価を行い、リスクに応じた低減措置を講じるなど、金融犯罪の防止に努めています。

◆ 経営者保証に関する取組方針について

当金庫では、「経営者保証に関するガイドライン」及び「事業承継時に焦点を当てた『経営者保証に関するガイドライン』の特則」の趣旨や内容を十分に踏まえ、お客さまからお借入れや保証債務整理の相談を受けた際に真摯に対応するため、「経営者保証に関する取組方針」を策定しています。同取組方針に基づき、経営者保証の必要性については、お客さまとの丁寧な対話により、法人と経営者の関係性や財務状況等の状況を把握し、同ガイドライン等の記載内容を踏まえて十分に検討するなど、適切な対応に努めています。

◆ 当金庫の金融仲介機能の取組みについて

2023年9月末における、当金庫の主な金融仲介機能の取組み状況は以下のとおりです。

(1) お取引先企業の経営改善や成長力の強化への取組み

① 当金庫がメインバンクとして取引を行っているお取引先は507先、メイン先への融資残高は224億円です。そのうち、経営指標（売上・営業利益率等）が改善したお取引先は266先で、経営指標の改善先に対する融資残高は116億円です。

(2) お取引先企業の抜本的事業再生等による生産性の向上への取組み

① 当金庫が関与した創業融資支援件数は24件、第二創業はありませんでした。

② ライフステージ別の与信先数及び融資額は、創業期が144先24億円、成長期が112先69億円、安定期が69先234億円、低迷期が97先23億円、再生期が87先27億円です。

創業期：創業、第二創業から5年まで

成長期：売上高平均で直近2期が過去5期の120%超

安定期： // 120%～80%

低迷期： // 80%未満

再生期：貸付条件の変更または延滞がある期間

◆ 地域とのあゆみ

月	日	出来事
6月	6日	信用金庫の日（6/15）統一事業として献血の実施
	8日～13日	経営報告会（一区、二区、三区）開催
	22日	第95期通常総代会を開催
7月	12日	大田原商工会議所「創業スクール」にて創業を支援
	14日	とちまるアライアンスによる相続セミナー開催

◆ 一部店舗における窓口営業時間について

少人数でより安全かつ効率的な店舗運営を図るため、窓口営業時間を下記の通りとしています。

【実施店舗】黒田原支店、野崎支店、那須塩原支店、矢板支店

	平	日
午前の部	9：00	～ 11：30
(休業時間)	11：30	～ 12：30
午後の部	12：30	～ 15：00

◆ 那須塩原支店、南大通り支店 全自動貸金庫サービスのご案内

当金庫那須塩原支店、南大通り支店では、全自動貸金庫を備えております。

窓口業務を行っていない時間帯や土日祝日もご利用いただけ、個室でプライバシーも確保されています。

店舗の名称及び所在地



店舗一覧

No.	店舗名	郵便番号	所在地	電話番号
①	本店営業部	〒324-0056	大田原市中央1丁目10番5号	0287-22-3130
②	黒磯支店	〒325-0061	那須塩原市末広町53番地107	0287-62-0678
③	西那須野支店	〒329-2727	那須塩原市永田町5番1号	0287-36-1255
④	黒田原支店	〒329-3222	那須郡那須町大字寺子丙2番地73	0287-72-1131
⑤	野崎支店	〒324-0035	大田原市薄葉2220番地5	0287-29-1221
⑥	那須塩原支店	〒329-3136	那須塩原市前弥六南町2番地1	0287-65-2031
⑦	南大通り支店	〒324-0054	大田原市若松町1650番8	0287-22-3800
⑧	矢板支店	〒329-2142	矢板市木幡1369番地9	0287-43-4646

<ATM取扱時間> 平日8:45~19:00
土・日・祝9:00~17:00

営業エリア

栃木県大田原市、矢板市、那須塩原市、那須郡那須町、さくら市、塩谷郡塩谷町及び福島県白河市（旧表郷村、旧大信村、旧東村を除く）

とちまるネット

栃木県内に本店を置く7金融機関（当金庫・栃木信用金庫・佐野信用金庫・烏山信用金庫・足利銀行・真岡信用組合・那須信用組合）は、「とちまるネット」によりATM業務提携を行っています。

平日8時45分から18時まで、提携金融機関のお客さまが、提携金融機関のATMを利用して現金のお引き出しを行う場合、「他行ATM利用手数料」が無料となります。

※時間外手数料については、各金融機関所定の手数料がかかります。

※お振込みにおける「他行ATM手数料」は、提携の対象外です。

※ATMの設置場所や稼働時間等の詳細につきましては、各金融機関のホームページをご覧ください。

 **大田原信用金庫**

〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-10-5

TEL:0287-24-2266 FAX:0287-22-5102

<https://www.ohtawara-shinkin.co.jp/>



大田原信用金庫

検索